病　院　だ よ り　　2015年12月号　第337号

発　行　昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院
発行責任者　昭和大学病院長　有 賀　　徹
編集責任者　広 報 委 員 長　河 村　　満
〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8
ＴＥＬ：03-3784-8000（代表）

昭和大学病院のホームページ：http://www.showa-u.ac.jp/SUH/
昭和大学病院附属東病院のホームページ：http://www.showa-u.ac.jp/SUHE/

褥瘡ケアセンター係長就任のご挨拶

褥瘡ケアセンター　遠藤　由布

平成 27 年 4 月より、当院の病棟での勤務から褥瘡ケアセンターへ配属となり、褥瘡管理者を拝命いたしました。私は平成 19 年に皮膚・排泄ケア認定看護師となり、病棟でのストーマ保有者のケアや褥瘡予防および褥瘡にかかわる教育・指導、外来での在宅管理のための患者さん・家族指導を行ってきました。また、院内教育を通して看護スタッフの教育も行ってきました。

褥瘡ケアセンターの目的および役割は、褥瘡発生の予防と発生している褥瘡の早期治癒を目指すことにあると考えています。そのためには看護師だけでなく、各病棟および関連部署が褥瘡発生予防対策や褥瘡保有者の悪化予防、治癒促進にむけた適切なケアが実施されるように各専門分野の知識・技術による支援を行うことができるよう日々関わり、努力しています。また、患者さんに対し、高い技術を提供できるよう、医療スタッフへの支援が重要と考えています。

対象とする患者さんは保険診療が行われるすべての入院患者さんであり、患者さんの褥瘡発生リスクの把握が必要となります。活動としては、主にⅡ度以上の褥瘡保有者に対し、担当医師からの依頼により週 1 回褥瘡ケアチームで回診を行います。チームは医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師から構成されます。チームはそれぞれの専門性を生かした治療内容、および継続したケアを決定していきます。具体的には、褥瘡の発生原因や患者さんの全身状態、栄養状態および管理方法、今後の治療方針や在宅へ移行する場合、患者さん個々の環境や状態に合わせた「継続可能なケア」を病棟スタッフおよび担当医師と共に検討し、決定していきます。

近年では在宅への移行の推進やチーム医療の強化を目的に病棟カンファレンスの参加や NST の介入などの専門性の異なる他職種との協働も視野に入れた活動を行っています。

一方で、超高齢社会や抗癌薬治療の強化に伴う褥瘡患者数の増加、移植患者さんや全身性の疾患などにより、スキントラブルのリスクを抱える患者さんの多様性に着目すべきと考えます。特に老化にともない皮膚が脆弱となる患者さんは今後も増加することが予測でき、褥瘡のみならずスキントラブルやスキンテア(主として高齢者の四肢に発生する摩擦・ずれにより発生する外傷性創傷)に対する患者さんおよび医療スタッフ指導・支援が今後の課題であると考えています。今後とも皆様の協力を賜り、そして御指導・御鞭撻の程、宜しくお願いいたします。

ボイラー祭開催報告

平成 27 年 11 月５日（木）にボイラー祭が執り行われました。寒さが段々と厳しくなる季節に昭和大学病院・附属東病院内の建物の空調を冷房から暖房に切り替えます。

ボイラーの本格的な稼動にあたって、機器の安全運転と職員の健康を祈願する儀式を今年度も無事終了しました。

大学病院神事

附属東病院神事

文責：管理第一課

世界糖尿病デーイベント開催報告

world diabetes day
14 November

毎年 11 月 14 日は世界糖尿病デー（インシュリンを発見したフレデリック・バンチングの誕生日）です。昭和大学病院附属東病院では、平成 27 年 11 月 12 日（木）に世界糖尿病デーにちなんだイベントを開催しました。 血糖値・ヘモグロビンＡ１ｃの測定や、医師による個別指導などさまざまなコンテンツが行われ、多くの方々が参加されました。また、東病院はイベントカラーであるブルーにライトアップされました。

当日の様子

講演会の様子

ブルーカラー
ライトアップの様子

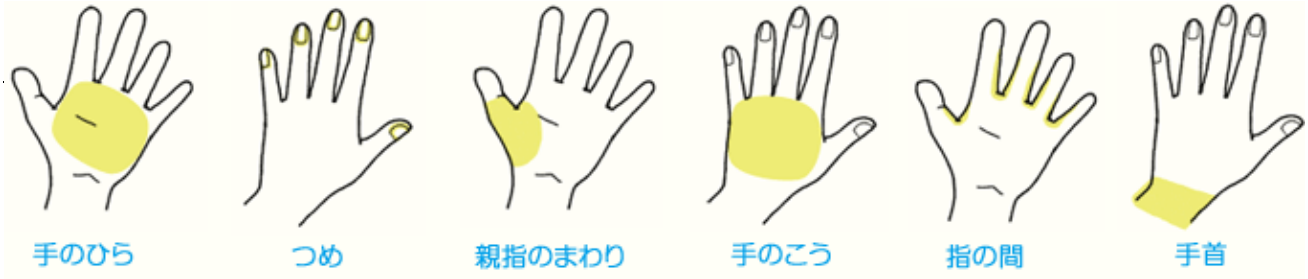
文責：管理第一課

手洗いキャンペーンを実施しました

昭和大学病院と附属東病院では 11 月９ 日（月）から 13 日（金）の５日間「手洗いキャンペーン」を実施しました。キャンペーン中はランチタイムに中央棟 7 階食堂と東病院各部署で、食事前の手洗い確認を行いました。

夕方は病院内の様々な部署を訪問して、病院職員や患者さん、患者さん家族の皆さんに日頃の手洗いがきちんとできているか、実際に手洗いをしていただき、ブラックライトによる手洗いチェッカーで洗い残しの確認を行いました。５日間で 495 人の方が参加してくださいました。

これからの季節は、インフルエンザや感染性胃腸炎などの感染症が流行する季節です。食事前やトイレのあと、外出後の手洗い方法を今一度確認していただき、感染予防に皆様のご協力をお願いいたします。



洗い残しのクセを知ってもらい効果的な手洗いの方法を体感してもらいました♪

食堂や各部署、病棟での洗い残しを確認する様子

♪参加した皆さんからのご感想♪

- 洗えていない部分が自分で認識できたので、今後は気を付けて手洗いします。
- 手洗いを見直す良い機会だったと思います。
- 念入りに洗ったつもりが残っていたので、これからはもっと意識を持ちたいと思います。
- 感染予防の基本として手洗いは基本なので、普段から手洗いをきちんと行うことが重要だと再認識しました。

文責：感染管理部門

昭和大学クリニカルセミナー第３０回記念会・昭和大学医師会２０周年記念会を開催して

医療連携室　磯飛　雄一

平成２７年１０月 31 日（土）16 時 30 分から近隣８医師会の共催のもと、昭和大学クリニカルセミナー第３０回記念会・昭和大学医師会２０周年記念会を開催いたしました。

今年度は 253 名（187 施設）の地域の医療機関の先生方にご参加いただき、大盛況のうちに幕を閉じました。

講演会では、下記４題の講演を行い、祝賀会では限られた時間ではありましたが、地域の医療機関の先生方と情報交換と親睦を深めることができました。

今後も昭和大学クリニカルセミナーを開催する予定ですので、多数のご参加を心よりお待ちしております。

１）「緊急内視鏡から治療内視鏡まで　～新内視鏡センター～」
内視鏡センター　センター長　山村　冬彦

２）「昭和大学の新たな試み　～チーム医療と頭頸部腫瘍センター～」
頭頸部腫瘍センター　センター長　嶋根　俊和

３）「アルツハイマー型認知症の診断と治療」
神経内科　診療科長・教授　小野　賢二郎

４）「総合診療専門医の意義」
昭和大学病院　病院長
昭和大学医師会　会　長
有賀　徹

昭和大学病院　病院長
昭和大学医師会　会　長
有賀　徹

頭頸部腫瘍センター　センター長　嶋根　俊和

神経内科　診療科長・教授　小野　賢二郎

内視鏡センター　センター長　山村　冬彦

院内コンサート報告

平成 27 年 10 月 23 日（金）15 時から東病院 3 階デイルームにおいて、第 15 回院内コンサートを開催しました。シンガーソングライター吉田和子さんことZUCCOさんは、昨年９月以来の二度目の演奏です。気さくな人柄に加えて、「男はつらいよ」でおなじみの寅さんの口上（啖呵）を全員で声を合わせる楽しい演出もありました。また、「皆さんから大きな力をいただきました」とご本人も涙ぐまれる一幕もありました。

吉田和子さんの歌声を静聴している様子

奏者：ギター弾き語り ZUCCO（吉田和子）
演目：「僕たちの夢は」
「はしねこはっしー」
「鉄腕アトム」
「上を向いて歩こう」
「男はつらいよ」
「何にでも効くおまじないの歌」
「緑風」
参加者：４０名
職　員：６名

♪参加された方々の声♪

- 出産以外での初めての入院でした。こうしたコンサートがこんなにも嬉しく楽しいとは今まで知りませんでした。聴けてよかったです。
- 「よくなる、よくなる、よくなるよ♪」と歌っていただきありがとうございます。皆が回復することを願います。
- 感動しました。「緑風」よかったな。
- 司会を含め、みんなで歌って啖呵をきって…。全員参加のスタイルが気に入りました。
- 入院生活にウンザリな者にはこよなき慰めです。大衆的な歌、歓迎です。
- 入院中の夫が口ずさんでいました。ありがとうございます。

文責：管理第一課　ボランティア担当

診療録管理 Vol.11　～がん登録においても診療記録は重要です！～

管理第二課　診療録管理係　鎌倉 由香

全国がん登録のポスター

最近、「日本人の２～３人に１人はがんになります」や「最近の肺がん患者さんの傾向としては、女性と非喫煙者が増えています」といったことを耳にすることはありませんか？

また、診療録管理室の入り口にあるポスターをご覧になったことはありますでしょうか？これは 2016 年１月からスタートする「全国がん登録」のポスターです。

「全国がん登録」とは、日本でがんと診断されたすべての患者さんのデータを国で一つにまとめて集計・分析・管理をする新しい仕組みのことです。（「がん情報サービス」ホームページより ganjoho.jp）

これまでもがん登録は全国で実施されており、「院内がん登録」「地域がん登録」「臓器別がん登録」の３種類があります。「院内がん登録」と「地域がん登録」は、各施設でがん登録室などの部署を設置して、国立がん研究センターで実施される「がん登録実務者研修」などで必要な知識を修得した診療情報管理士等が実務者として登録を実施しています。「臓器別がん登録」は各学会や研究会が実施主体となり、全国のがんの詳細情報を収集するため更に専門的な項目を医師が登録しています。

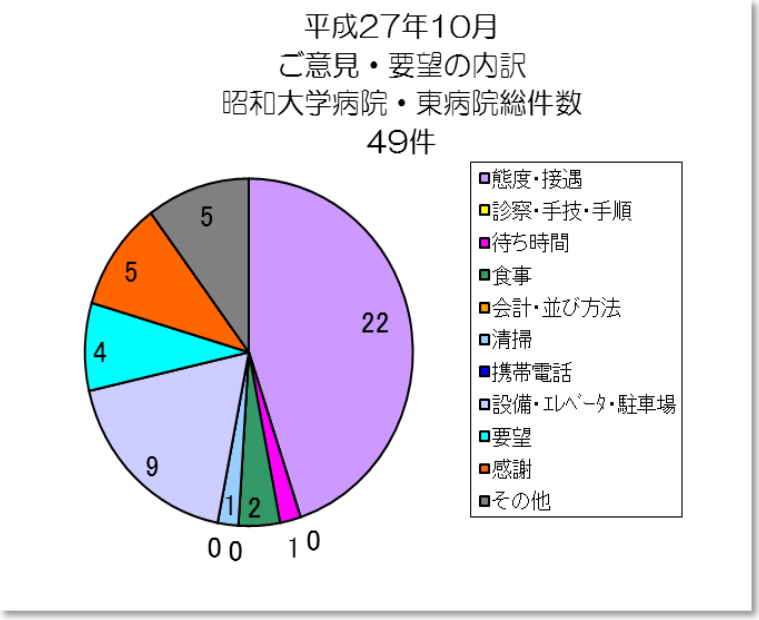
昭和大学病院は、2010 年度から「地域がん診療連携拠点病院」となっています。拠点病院は多くの指定要件があり、そのひとつにがん登録実施についての要件もあります。

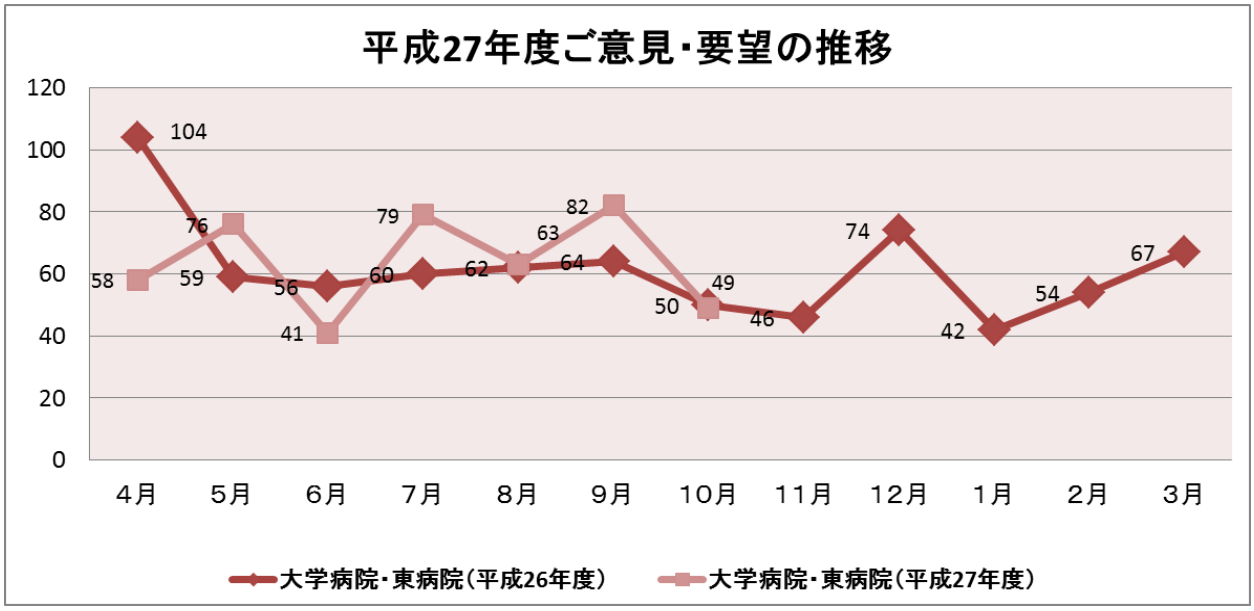
①「標準登録様式」に基づく項目の登録を実施すること、②国立がん研究センターによる研修を受講した専従の実務者を１名以上配置すること、③毎年、集計結果等を国立がん研究センターに情報提供すること、④地域がん登録に積極的に協力をすることです。当院の院内がん登録実務は診療録管理室内に設置されており、登録データは 2008 年症例から提出しています。2014 年全国集計に提出したデータは、2,608 件でした。以外に少ないですね･･･と感じられた方がおられるかも知れませんが、これは先にあげた要件の①にある「標準登録様式」の登録項目に従って<u>当院における初回の一連の診断・治療</u>を登録したデータとなるためです。化学療法などで何回も再入院されることもありますが、そのような場合は登録対象外となります。初回の一連の診断や治療について正確に登録するためには、多くの情報を取得しなければなりません。１ヶ月の外来受診患者さんは、延べ３万５千名ほどいます。現在このデータを６ヶ月程度ためて※DWH から登録候補の抽出を行います。そこから該当したものを外来診療記録および入院診療記録そして臨床病理検査室から定期的に提供していただく細胞診・組織診の結果、病理解剖の結果などから、地道に情報を拾い上げて登録を実施しています。ここで大変重要となることは、診療記録の記載内容の充実になります。正確な情報が確実に取れる診療記録であればこそ、より精度の高い登録が実施できます。来年から施行されます「全国がん登録」は、全国同様の登録方法で実施することが推奨されています。貴重なデータを正しく提供するためには、診療記録の整備を今まで以上にしっかりと行わなければなりません。**診療記録はとても重要です！**

※DWH：データウェアハウス。企業内外の既存のシステムや基幹業務システムに蓄積された大量のデータの中から、ユーザーのニーズに応じた情報を抽出・分析することができるコンピュータ・システム。

患者さんのご意見･要望

ご意見・要望	回　答	回答部署
できれば毎日洗髪したいです。	この度はご要望の確認が不十分で申し訳ございませんでした。 頭髪の清潔につきましては、患者さんの病状とご要望によって適切な方法を判断して実施しております。 ご自分で洗髪できる患者さんについては、浴室の予約をしていただき、ご利用いただいております。 ご自分で洗髪できない患者さんにつきましては、毎日洗髪をすることはできない場合がございます。 今後はご要望の確認および、入院時のご案内を十分にさせていただきます。	看護部





各種お知らせ

・平成２７年度第１回 保険診療講習会

日　時：平成２７年１２月７日（月）１７：３０～１８：３０

場　所：上條講堂

内　容：DPC 制度や請求について

・平成２７年度第７回 医療安全・感染対策講習会

日　時：平成２８年１月２９日（金）１８：００～１９：００

場　所：上條講堂

テーマ：感染対策／医療ガス／個人情報

編集後記

脳の中には時間を計るための器官は見つかっていません。でも、あっという間に 12 月になった、と感じます。今日が月曜日とします。金曜日に試験があるとすると、金曜日が向こうから迫ってきます。人は、いやなイベントは自分に向かってやってくるような気がして、楽しみにしていることに対しては、自分がそこに向かっているように感じるのだそうです。なぜ時間はワープするのでしょうか。暮れとお正月のお休みに時間の不思議をじっくりと考えてみたいと思っています。

河村　満

昭和大学病院･附属東病院の理念

・患者さん本位の医療
・高度医療の推進
・医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

・患者さんが受診しやすい、患者さんのＱＯＬを重視した、質の高い医療を提供する。
・地域医療機関との連携を推進し、特定機能病院としての医療を担う。
・教育病院としての機能を充実して卒前・卒後の研修・実習および生涯教育を通して、質の高い医療人の育成を行う。
・生命倫理を尊び、科学的根拠に基づいた高度な臨床研究を実施する。

ご意見・要望につきましては、メールアドレス：tayori@ofc.showa-u.ac.jp までお願いいたします。

病院広報委員会委員：　荒川 千春、板橋 家頭夫、伊藤 亜紀子、門倉 光隆、河村 満、日下部 まり奈、笹﨑 玲香、佐藤 久弥、田代 ゆい、田中 克巳、二木 芳人、平野 勉、吉田 仁、渡邊 聡（50 音順）